

日本盲導犬協会仙台訓練センターの根元学センター長と黒田匠さん、盲導犬ユーザーである三上慎太郎さんと盲導犬ユアラが7月8日(金)に町長を表敬訪問しました。

今回の訪問は、コロナ禍における盲導犬ユーザーの生活や視覚障害をもつ方に対する社会の受け入れ状況への理解を深めることを目的に行われました。

実際のコロナ禍中での盲導犬ユーザーの困りごとや普段の生活での問題を聞き、盲導犬の受入れ体制を整える必要があることを理解した後、町長が実際にアイマスクをつけた状態での歩行を体験しました。

町長は「町だけでなく五所川原圏域においても盲導犬や障害のある方への理解を促進していきたい。まずは情報発信を即座に行いたい」とSNSを利用した情報発信を行うことを約束していました。



よりよいまちづくりを目指し

弘前大学と連携協定締結



国立大学法人弘前大学との連携協定に関する協定締結式が7月15日(金)に役場委員会室で行われ、国立大学法人弘前大学福田眞作学長らが出席しました。

この協定は、産業・文化・福祉・人材育成・まちづくり・学校教育・地域創生・その他必要と認められるものの8つの分野で連携していくものです。

具体的な事業としては宮越家の歴史的背景を紐解く「宮越家所蔵資料の調査研究・保存活用」、健康に有

効な成分の分析を行い、町内企業と共同で加工商品の開発を目指す「町産農産物の機能性の立証と高付加価値加工食品の開発」、視界不良時でも安全に走行できる装置の研究を行う「地吹雪における風力を利用した視界確保に関する研究」を重点的に行っていきます。

町長は「地域課題に迅速に対応するため、弘前大学との連携協定を図り時代に即した地域社会形成を目指したい」と今後の展望を語りました。

福田学長は「とても意義のある協定を結ぶことができた。これからも地域の皆さんに協力していただきながら地域の発展を推進していければ」と話しました。

